

公共交通推進に関する アンケート調査の集計結果に ついて

このアンケートは、仙台市都市整備局公共交通推進課が、市政モニターのみなさまの協力のもとに実施し、184名の皆様から回答をいただきました。

ご協力いただいた市政モニターのみなさまに感謝申し上げます。

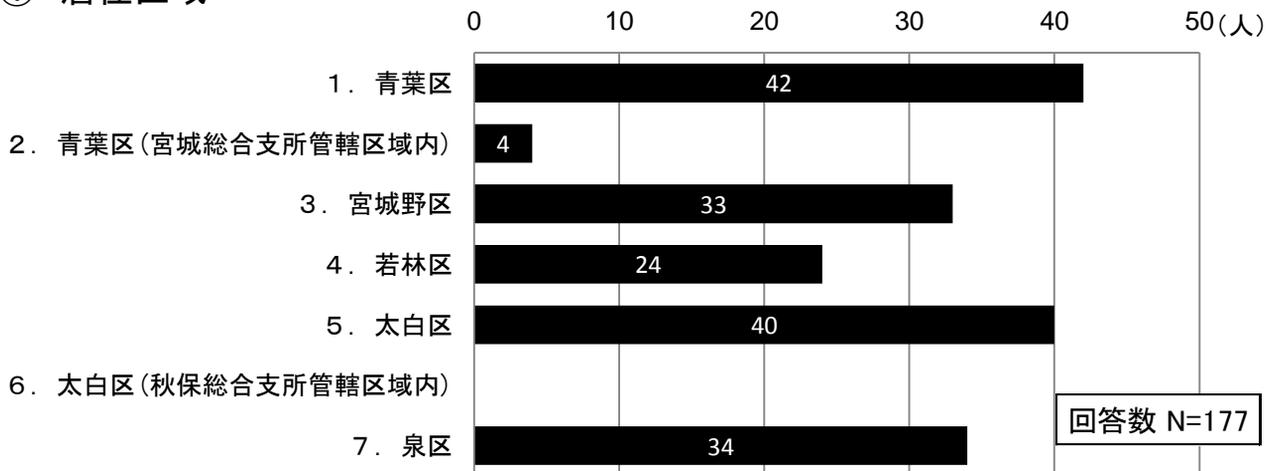
以下に、アンケートの結果をご報告します。

平成30年度

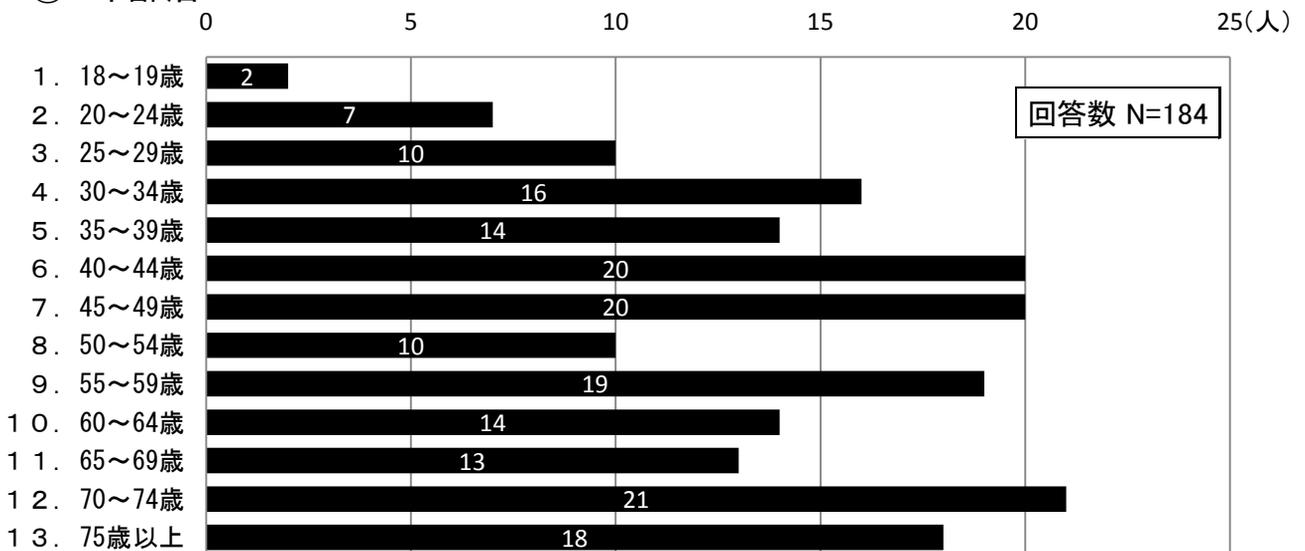
公共交通に関するアンケート集計

【回答者の属性等について】

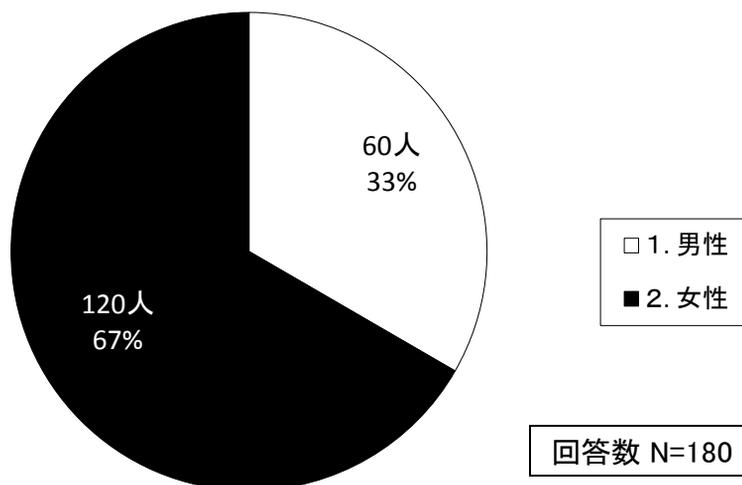
① 居住区域



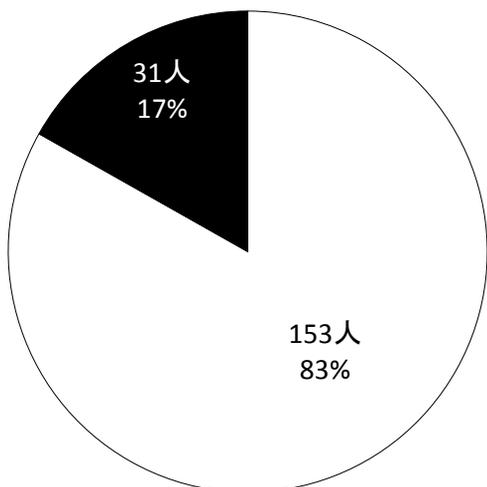
② 年齢層



③ 性別



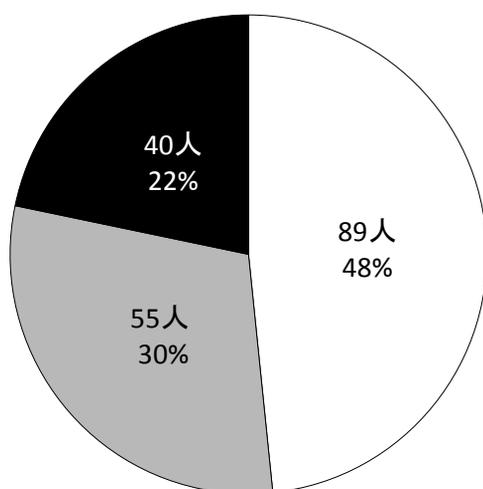
④ 免許の有無



- 1. 有
- 2. 無

回答数 N=184

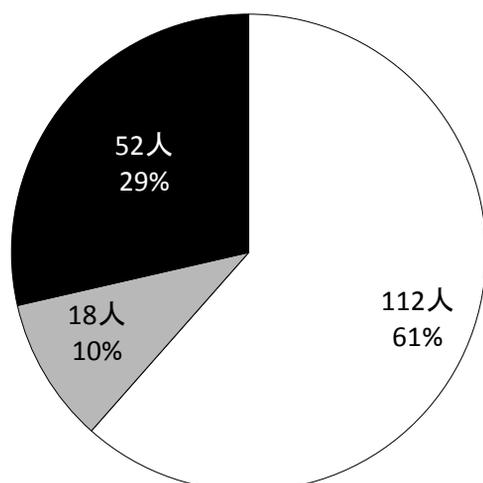
⑤ 自動車の所有状況



- 1. 所有している
- 2. 同居する家族が所有している
- 3. 同居する家族も含めて所有していない。

回答数 N=184

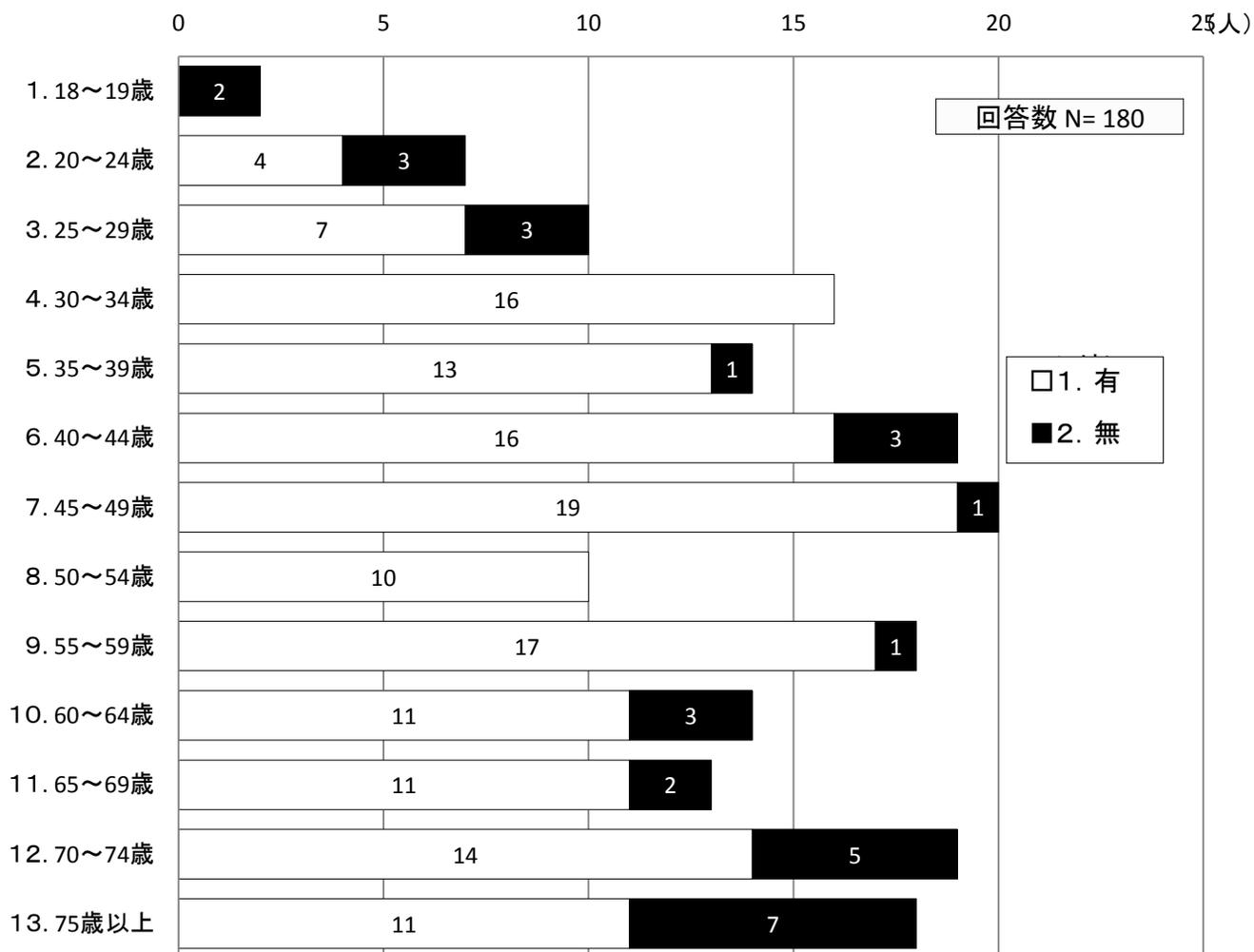
⑥ 車の利用状況



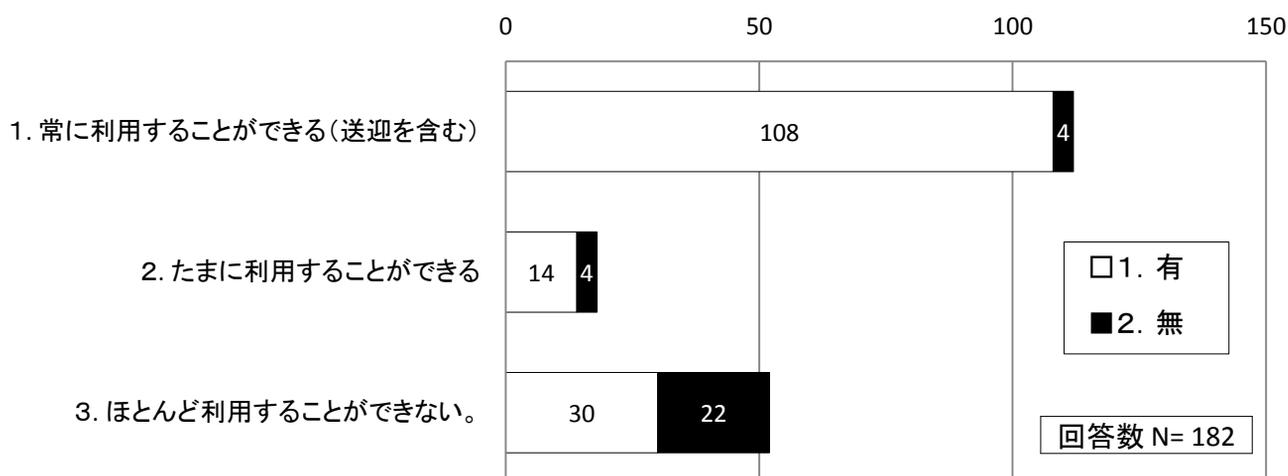
- 1. 常に利用することができる(送迎を含む)
- 2. たまに利用することができる
- 3. ほとんど利用することができない。

回答数 N=182

⑦ 年齢層別の免許の有無



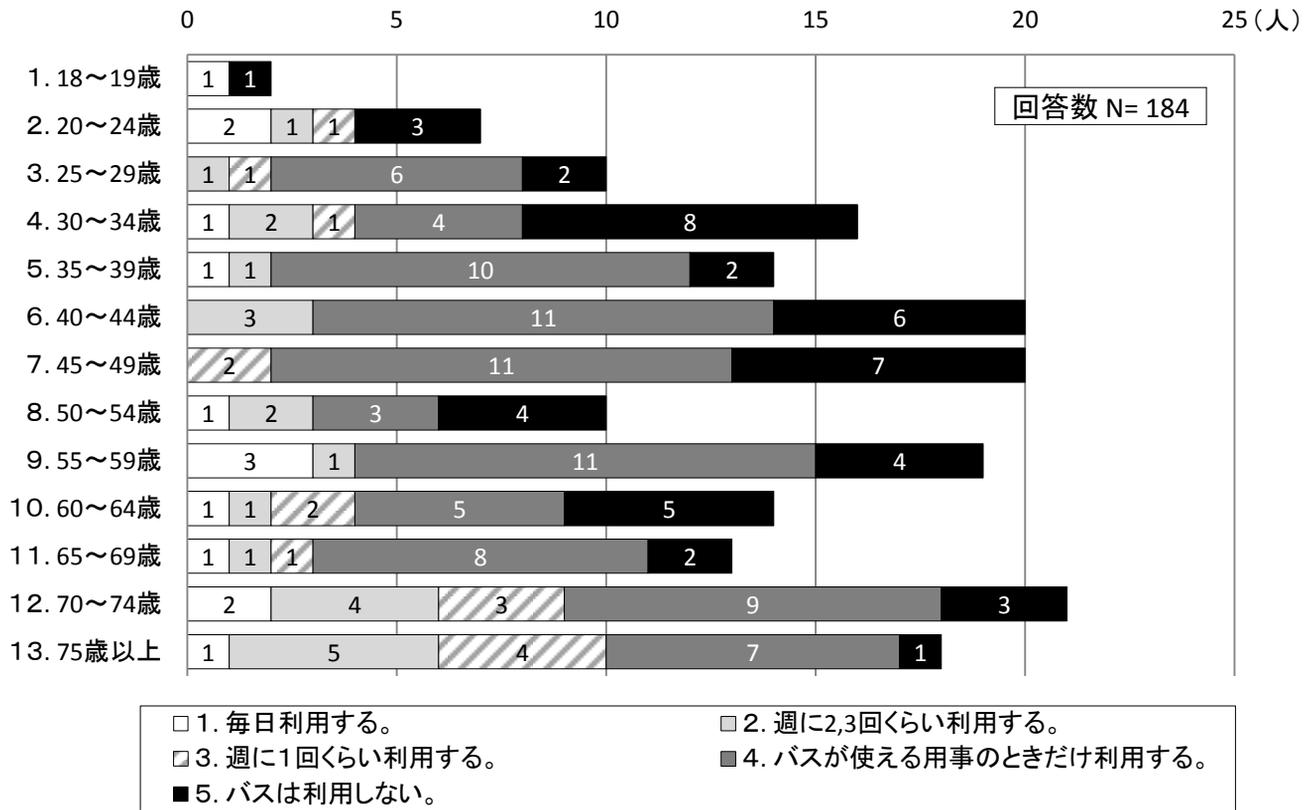
⑧ 車の利用状況と免許の有無



【バスサービスについて】

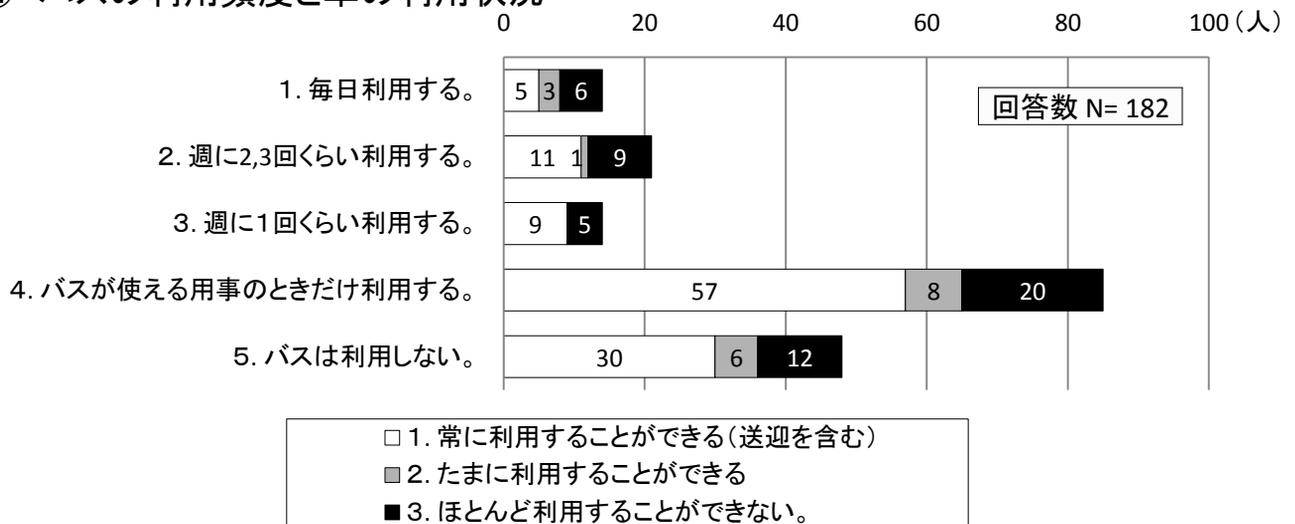
現在のバスサービスが皆様にとってどの程度満足できるものとなっているかをお伺いする質問に回答していただきました。

① 年齢層別のバスの利用頻度



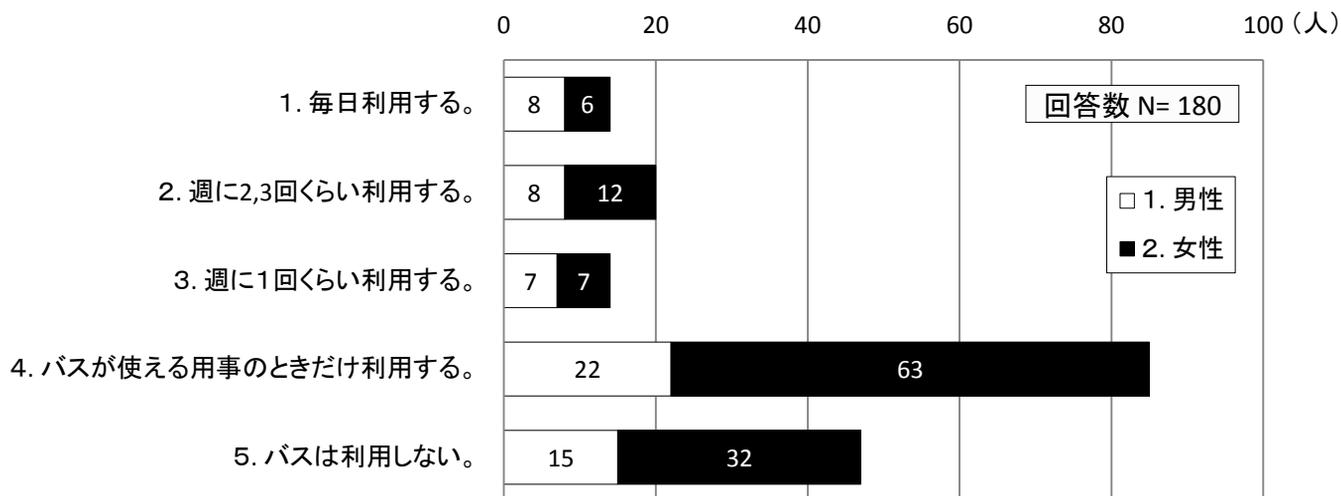
○70代以上の方はバスの利用頻度が高く、週に一回以上バスを利用する方が全体の1割以上となっています。(184人中19人)

② バスの利用頻度と車の利用状況



○バスを利用しない方の6割以上の方が車を常に利用できる(送迎を含む)環境にいることがわかります。(48人中30人)

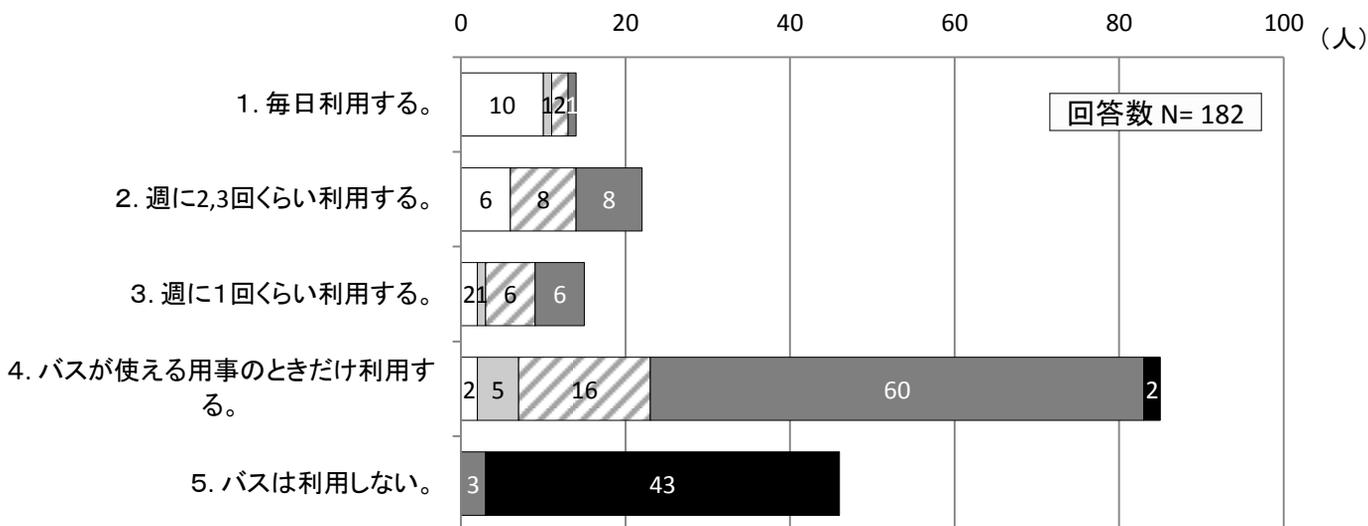
③ バスの利用頻度と性別



○男性も女性も「バスが使える用事の時だけ利用する」との回答が最も多く、全体の約半数となっています。

○「週に2, 3回くらい利用する」及び「バスが使える用事の時だけ利用する」、「バスは利用しない」との回答では、女性の比率が高い結果となっています。

④ バスの利用頻度と利用目的

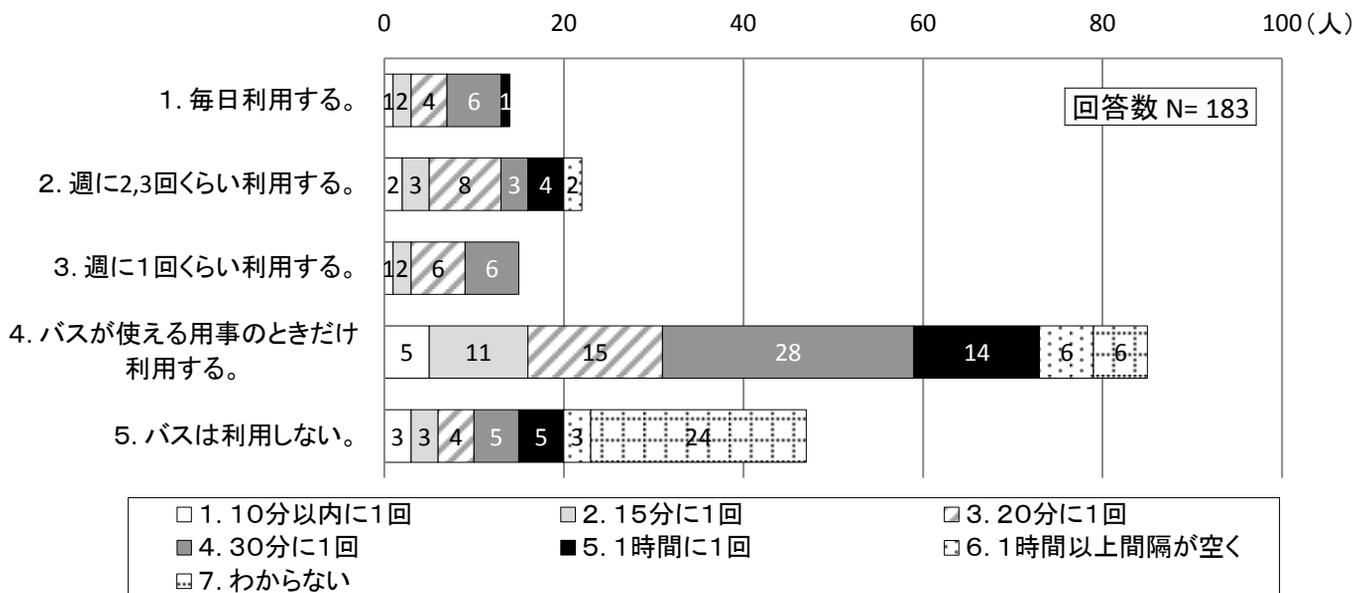


- 1. 通勤や通学で利用する。
- 2. 仕事や業務での移動で利用する。
- 3. 買い物、通院などで利用する。
- 4. 趣味、用事など私事での移動で利用する。
- 5. バスは利用しない。

○バスを毎日利用する方は、通勤や通学目的で利用する方が最も多いことがわかります。

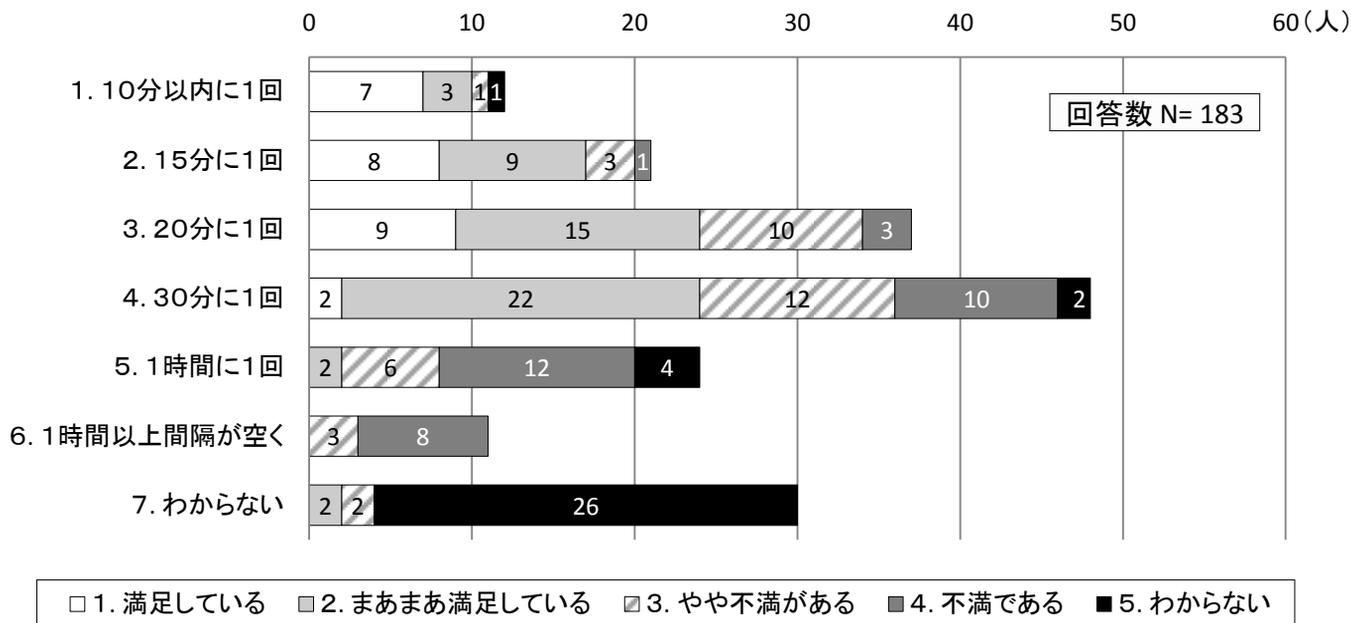
○バスが使える用事の時だけ利用する方で、趣味や用事など私事で利用する方と、買い物・通院などで利用する方を合わせると、全体の4割以上となっています。

⑤ バスの利用頻度と現在のバス運行頻度



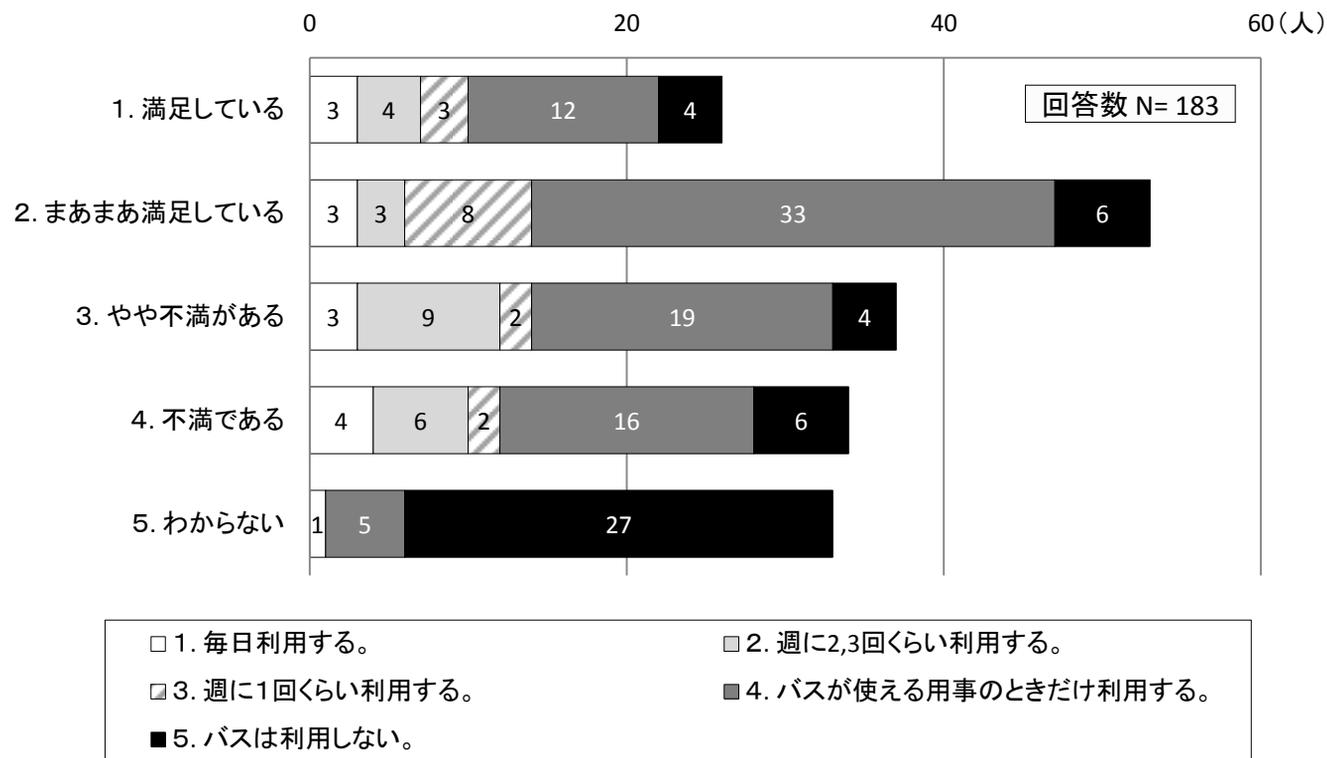
○「バスが使える用事の時だけ利用する」及び「バスは利用しない」と回答した方の中には、バスの運行頻度についてわからないと回答した方が多いことから、バスの利用頻度が低いほど運行頻度を知らないことがわかります。

⑥ 現在のバスの運行頻度と満足度



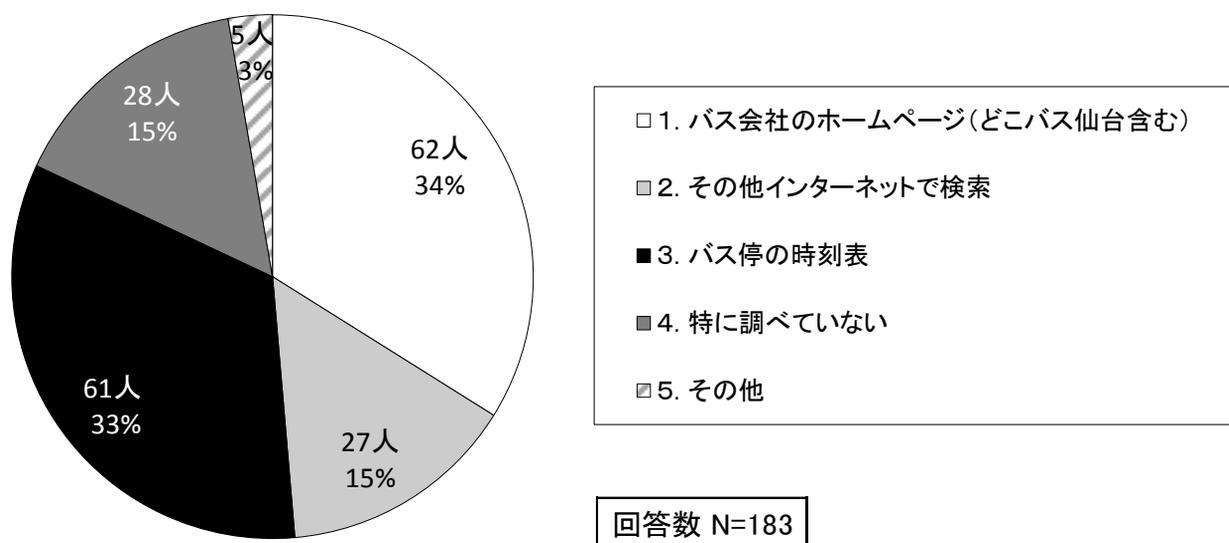
○バスの運行頻度が30分に1回より少ないと、不満を感じている方の割合が満足している方の割合を上回ることがわかります。

⑦ バスの運行頻度の満足度と利用頻度



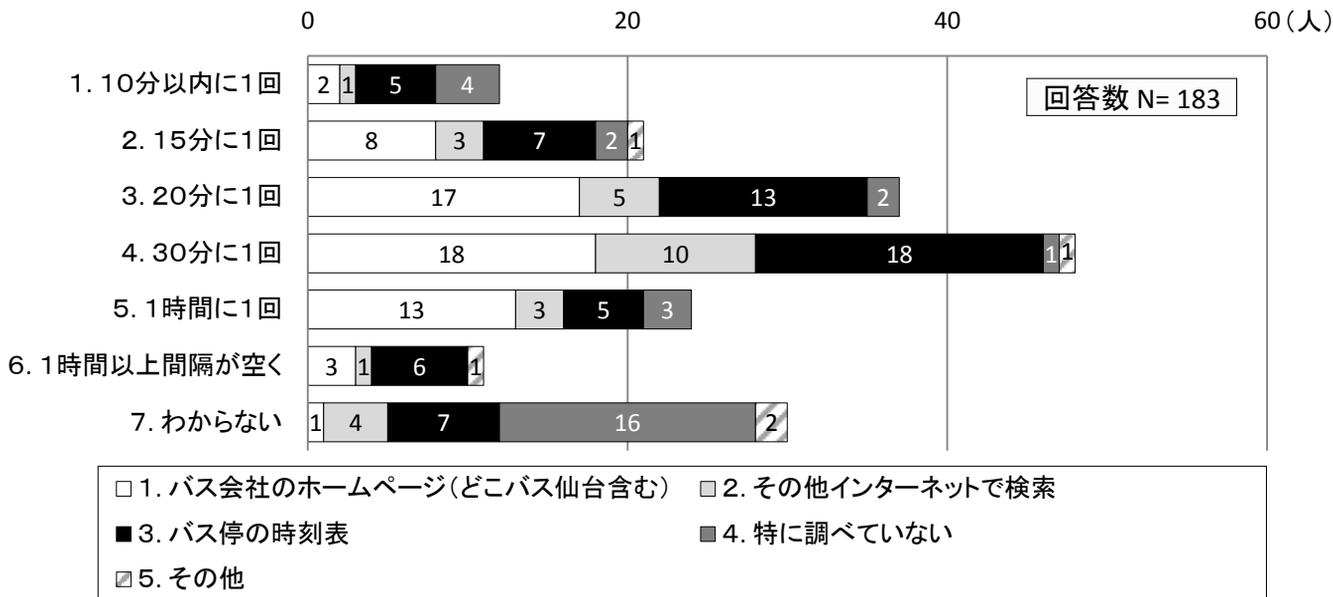
○バスの運行頻度に「満足している」と回答している4割弱の方は、週1回以上バスを利用していることがわかります。(26人中10人)

⑧ バスの時刻の調べ方



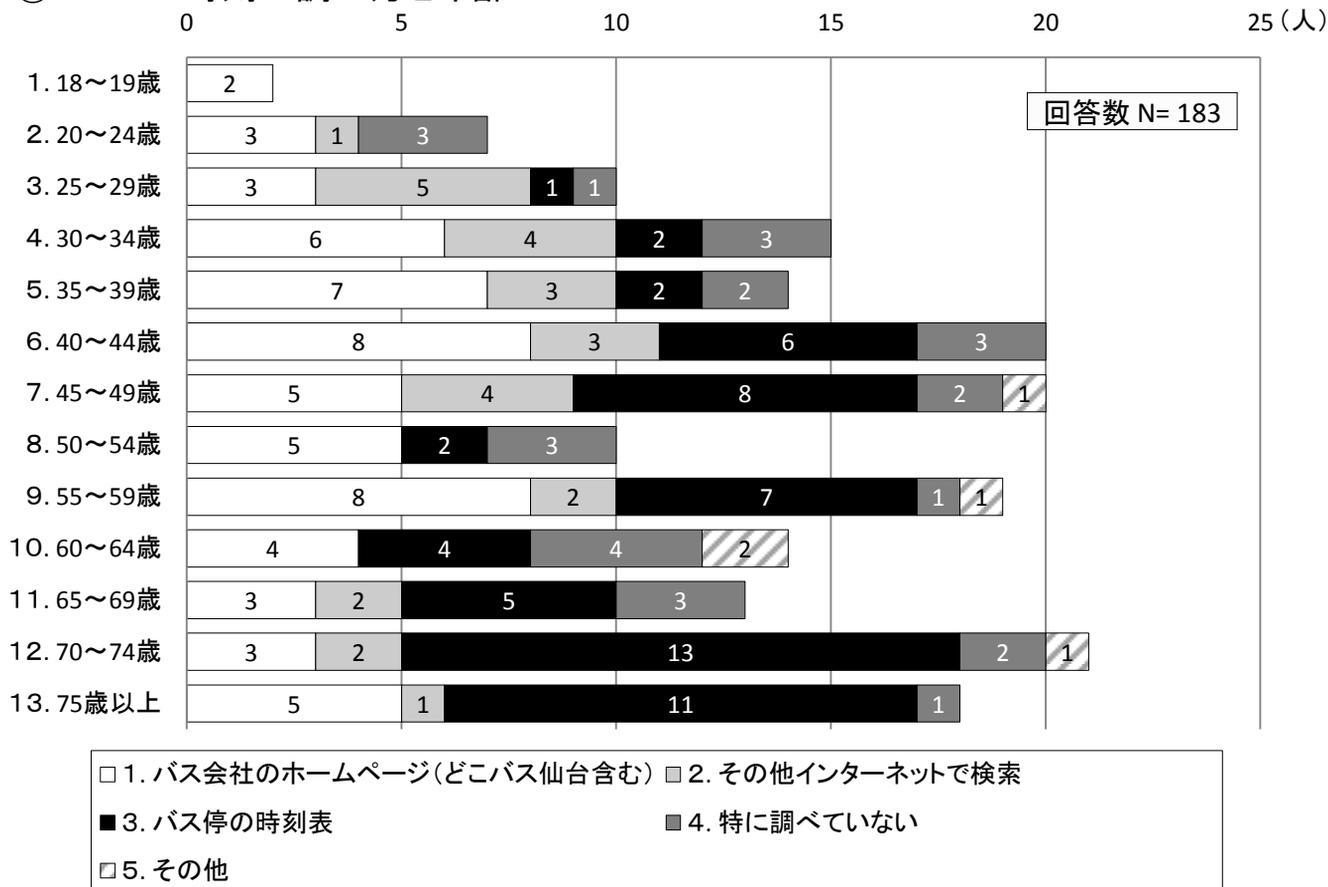
○約半数の方がインターネットにて時刻を調べています。

⑨ バスの時刻の調べ方と現在の運行頻度



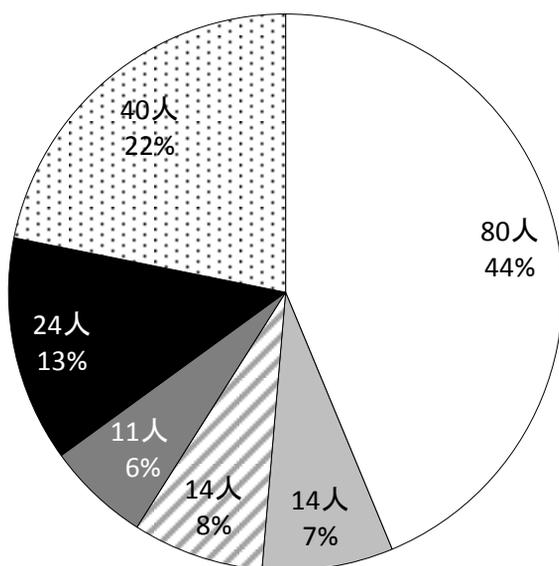
○バス運行頻度が20分に1回より少ないとインターネットで時刻を調べる方の割合が多い傾向となっていることがわかります。

⑩ バスの時刻の調べ方と年齢



○40代前半以下の方はバスの時刻をインターネットにて調べる割合が半数を上回っていますが、70歳以上の多くの方はバス停にて時刻を調べています。

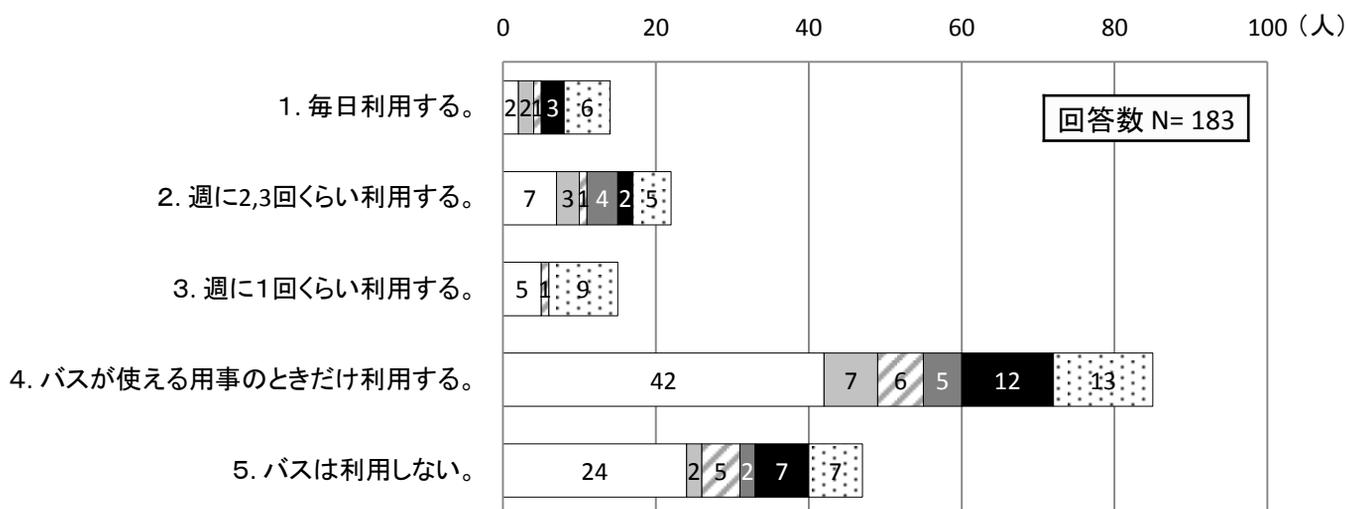
⑪バス廃止時の移動手段



- 1. 車を使用する
- 2. タクシーを利用する
- 3. 家族や近所の方に送迎を依頼する
- 4. 外出をしない
- 5. わからない
- 6. その他

回答数 N=183

⑫バス廃止時の移動手段と現在のバスの利用頻度



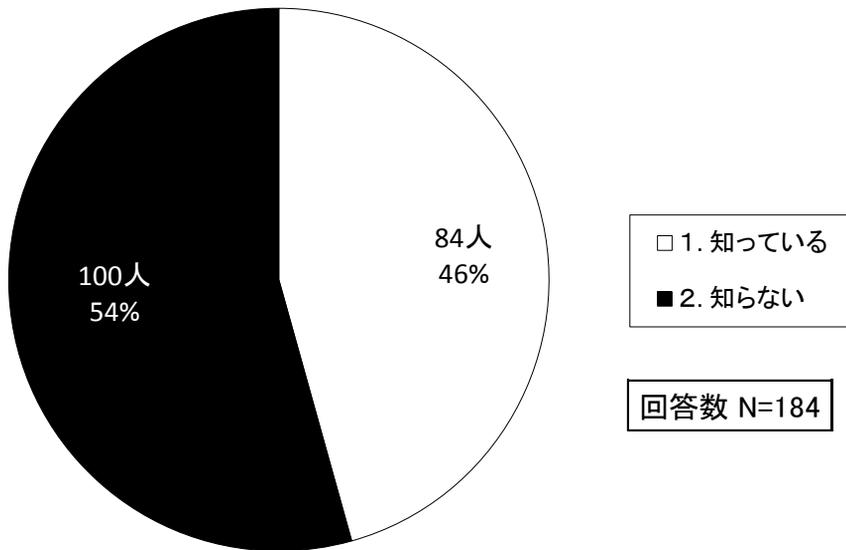
- 1. 車を使用する
- 2. タクシーを利用する
- 3. 家族や近所の方に送迎を依頼する
- 4. 外出をしない
- 5. わからない
- 6. その他

○バスが使える用事のみときだけ利用する方や、バスを利用しない方のように、バスの利用頻度が少ない方ほど、バスが廃止になった場合の代替手段として「車を使用する」と回答した方の割合が多いことがわかります。

【公共交通利用の際における、お得な制度やサービスについて】

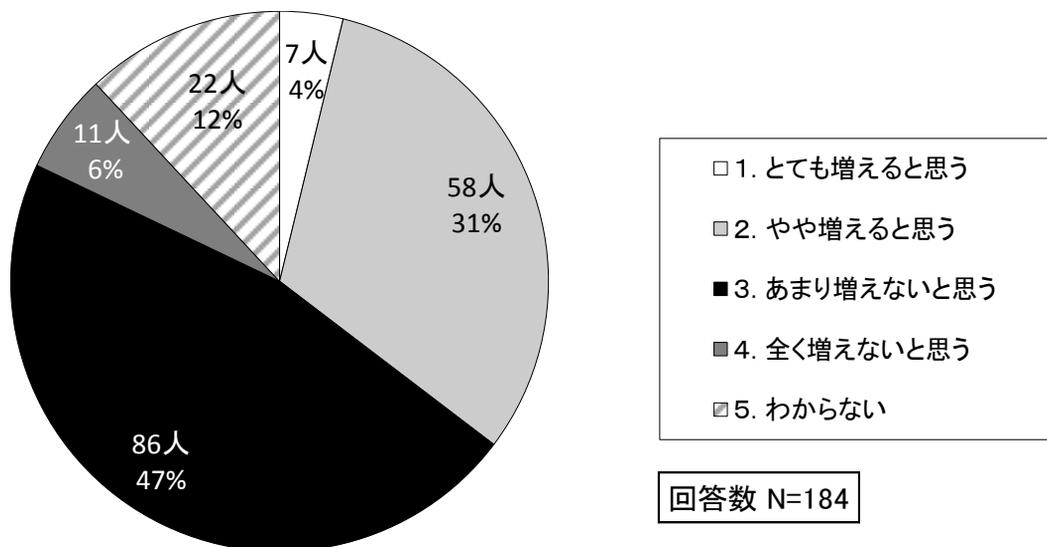
公共交通利用の際における、お得な制度やサービス及びICカード乗車券の認知度や利用状況に関する質問に回答していただきました。

① 「地下鉄200円均一運賃」の認知度



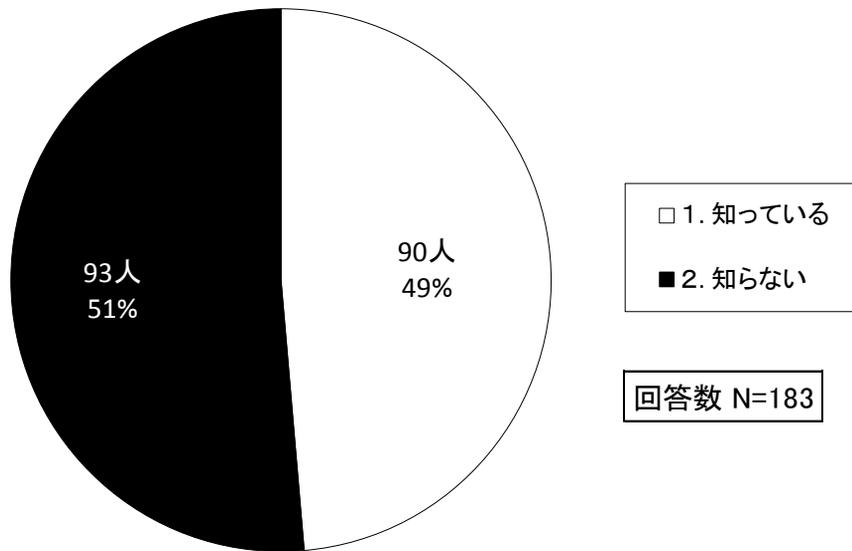
○本制度の認知度はおおよそ半分であることがわかります。

② 「地下鉄200円均一運賃」による利用者増加の寄与



○「とても増えると思う」、「やや増えると思う」と回答した方は、全体の3割半ばという結果となっています。(184人中65人)

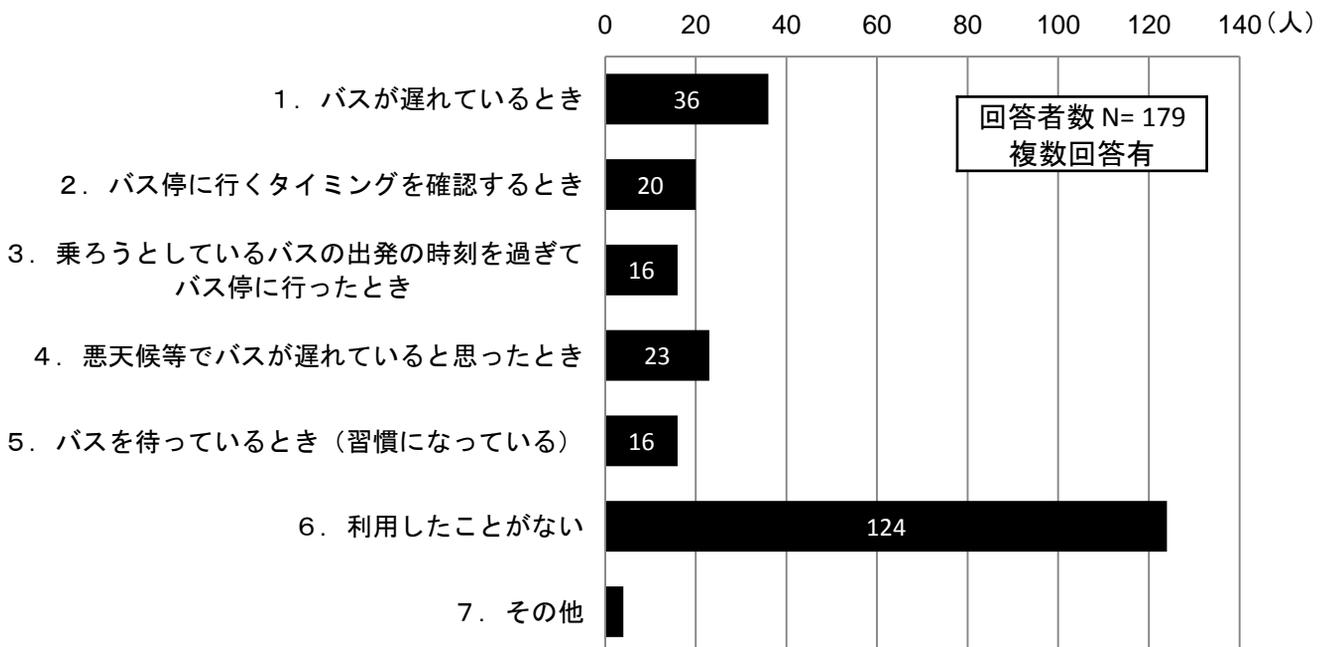
③ 「どこバス仙台」の認知度



○本制度の認知度はおおよそ半分であることがわかります。

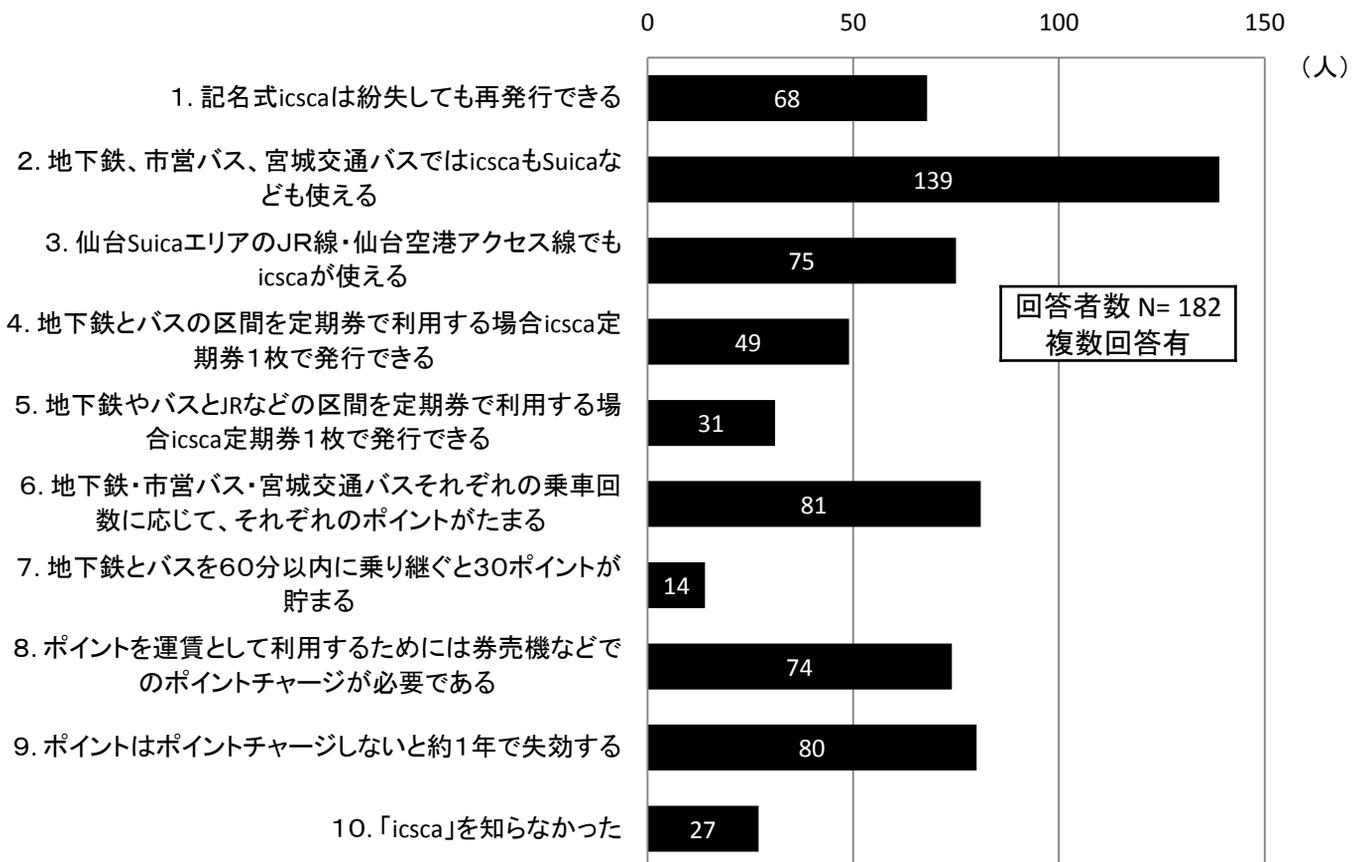
④ 「どこバス仙台」の利用状況

(※利用している状況すべて選択可)



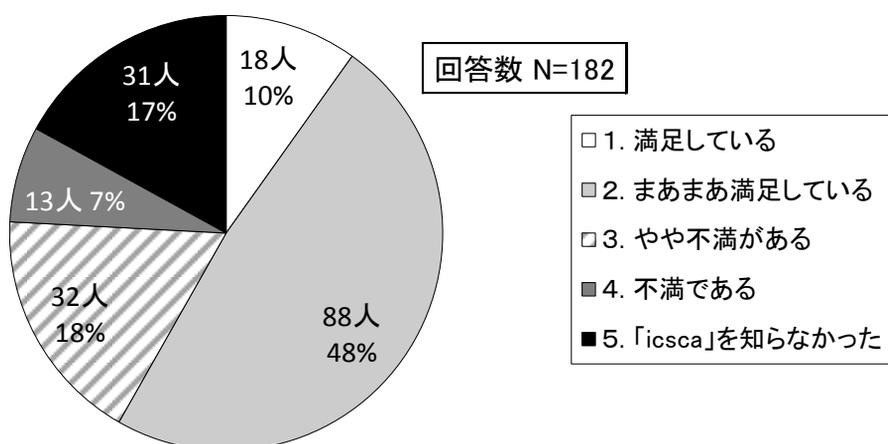
○どこバス仙台を利用したことがある方はバスが遅れているときに最も多く利用しています。

⑤ ICカード乗車券 icasca の各種サービスや制度等についての認知度



○「地下鉄、市営バス、宮城交通バスではicascaもSuicaなども使える」については7割半ばの方（184人中139人）が知っている一方で、「仙台SuicaエリアのJR線・仙台空港アクセス線でもicascaが使える」を知っていると回答した方は半数以下となっており、icascaをJRや仙台空港アクセス線では利用できないと思っている人が多いことが分かります。

⑥ ICカード乗車券 icasca に対する満足度



○ICカード乗車券icascaを認知している約7割の方が、ほぼ満足しています。（151人中106人）

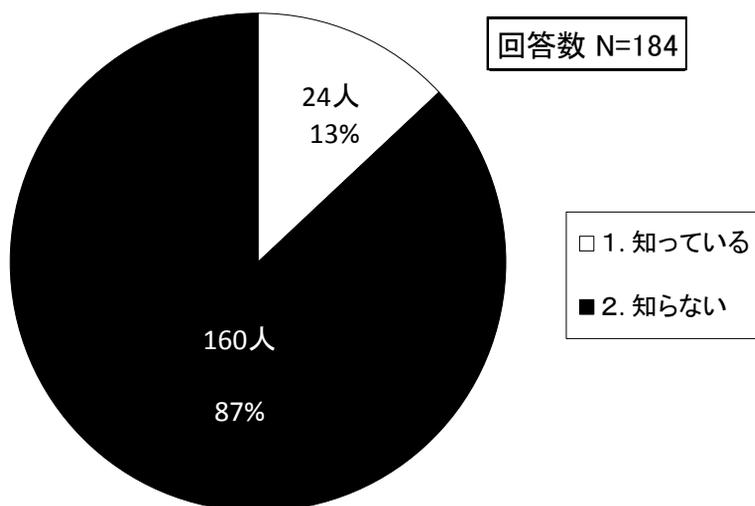
まとめ

○地下鉄200円均一運賃やどこバス仙台は認知度が低いことから、今後更に情報発信が必要であることがわかりました。

【みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度について】

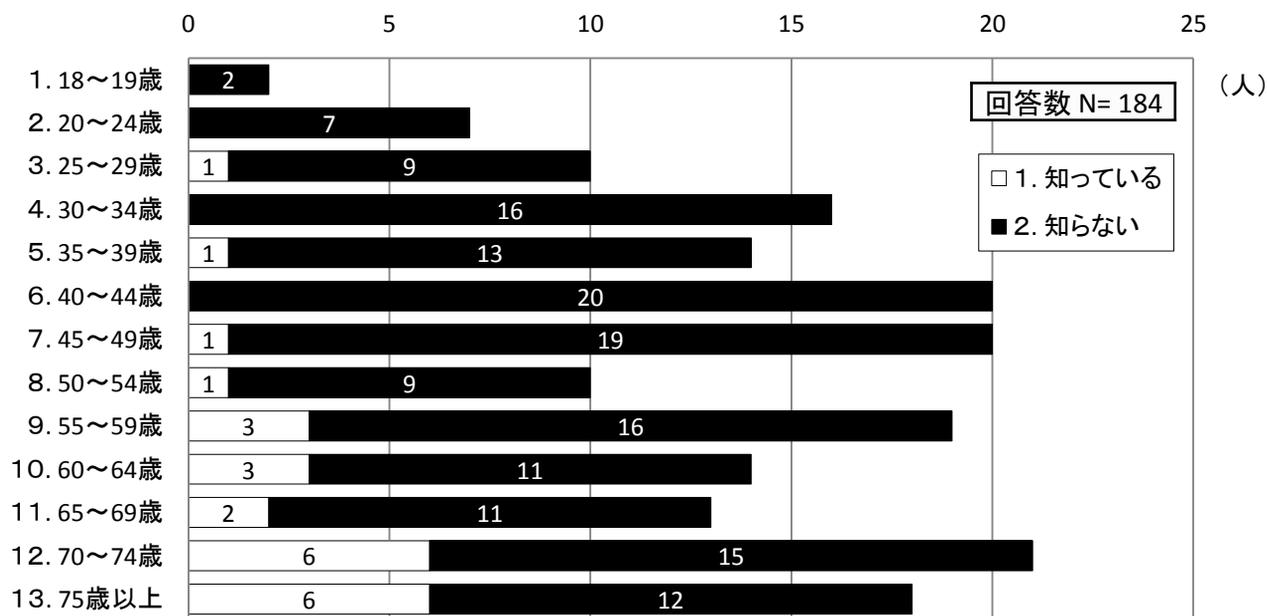
みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度の認知度に関する質問に回答していただきました。

① みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度についての認知度



○「みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度」を9割弱の方が知らないと回答しています。

② 年齢別の認知度



○年齢別で認知度を見ると70代以上の方の認知度が他の年代に比べ高いことが分かります。

まとめ

○「みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度」に対する認知度が低いことから、今後更なる情報発信が必要であることがわかりました。